



真名子小・道徳教育

トンネル山通信

h29.6.28



本年度の道徳教育について

今を、これからをよりよく生きる児童の育成をめざして、本校では、道徳教育に力を入れて取り組んでいます。昨年度に続き、西方小・西方中と共に、

「9年間を見通した一貫性のある道徳教育の推進 ～主体的に考え、伝え合う道徳の授業の工夫～」

を研究主題として取り組んでいます。小中9年間を見通し、次のように「道徳教育のめざす子ども像」を設定しています。

(1)主として自分自身に関すること

「より高い目標をもって、勤勉に、くじけず努力し、自分を向上させる子ども」

(2)主として人とのかかわりに関すること

「相手に対する思いやり、尊敬と感謝の気持ちを表す子ども」

(3)主として生命や自然、崇高なものとのかかわりに関すること

「生命あるすべてのものを尊敬し、尊重する子ども」

(4)主として集団や社会とのかかわりに関すること

「学級や学校、地域の中で自分の役割と責任を自覚し、
集団をよりよくしようとする子ども」

この子ども像を受けて、小学校では、以下のような子ども像を目指します。

(1)目標を立て、希望と勇気をもって、くじけずに努力して、やり抜く子ども

(2)誰に対しても思いやりの心をもって親切にでき、尊敬と感謝の心をもつ子ども

(3)生命がかけがえのないものであることを理解し、生命をもつものを尊重する子ども

(4)集団の中での自分の役割を自覚し、役割や責任を果たし、協力してよりよい学級・
学校・集団をつくる子ども

5月8日全校集会で

「めあてを常にもち、友達と高めあう」
子どもたち一人一人が毎月めあてを決めて
生活し、自分で振り返り、記録していく。
校長先生が友達のめあてと振り返りを
紹介してくださいました。



真名子小と西方小 合同の道徳授業「カーテンの向こう」



6月12日(月) 小小連携
6年生が西方小に移動して合同
の授業を行いました。
2校時は寺崎先生の道徳の授
業でした。
「中学校の教科書にのっている
お話です。」と・・・

「思いやり・親切」について
考えました。中学生になったとき
自分は、どんな行動を取りたいか
ということについても考え、書いたり
発表したりしたすてきな授業でした。
中学生になったときは、また成長
した自分の考えがもてると思いました。



H29・2「つながる命」1～4年生に道徳の合同授業をしてくださった上野代先生



無事に命をつなげて、お母さんになり
ました。おめでとうございます。
よかったです。

